

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・ソフト事業

コード	名 称	
事業名	2028	総合計画進行管理事業
基本施策	99	

担当部課名	企画振興部企画調整課
作成者氏名	山下 章光
連絡先	22-9620

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	総合計画	総合計画の効果的な推進を通じ生活課題が実現・解消される。
本年度事業内容	実施計画の策定及び総合計画書の印刷(本冊・ダイジェスト版)の印刷。 (仮称)まちづくり市民委員会を設置し、成果指標に関する現状値の調査を実施して成果指標及び目標値について協議を行い確定する。	
開始年度	平成 18 年度	終了年度 平成 年度 根拠法令・要綱等

投入資源

		H18	H19	H20
①投入人員	正規職員 (人)	2.5	1.2	1.5
	人件費合計(A)	18,000	8,640	10,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	5,046	1,330	1,330
	報償費	750	750	750
	通信運搬費	420	420	420
	需用費(印刷)	3,707		
	その他	169	160	160
合計(A+B)		23,046	9,970	12,130
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		23,046	9,970	12,130
上記①～③に関する特記事項				

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 18 年度	年度
(仮称)まちづくり市民委員会の開催数	回	2	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
生活課題の改善度	生活課題から導かれた基本施策を達成していくために改善度を指標とした。(18年度にアンケートを実施しそれを現状値とする。それをもとに19年度以降の目標値を設定する)	%	

評 価	必要性	4	18年度策定した総合計画を市民と行政とが進捗状況に関する情報を共有して目標値を見直していく必要があり、市民委員会を組織して進めていく必要がある。
	有効性	4	成果指標などに基づき市民参加により政策評価を行うことができる。
	効率性	4	評価を積み重ねることにより、その成果を後期基本計画に反映させ、計画のステップアップを図れる。

総合評価

A